

平成 25 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2013年4月～2014年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていただきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 名古屋市立笹島小学校

種別  幼稚園・保育園  小学校  小中一貫教育  
 中学校  高等学校  中等教育学校  
 教員養成  技術/職業教育  
 その他 ( )

住所 〒450-0002  
名古屋市中村区名駅四丁目19番1号

E-mail : sasashima-e@nagoya-c.ed.jp

Website : www.sasashima-j.nagoya-c.ed.jp/

児童生徒数：男子 63名 女子 75名 合計 138名  
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ( )

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

※当報告書についてはユネスコスクールホームページに掲載するため、活動内容については、添付報告書ではなく本報告書にご記入願います。

「広げていこう 世界を見る目 笹島から ～学ぶ力を身に付け、国際社会に生きる児童の育成」のテーマのもと、「地域学習・郷土学習」「国際教育」の2つの視点で、ESDの推進につながる学習を抽出し、実践に取り組んできた。

#### ① 地域学習・郷土学習

1～5年生で地域の素材を生かした「ふれあい学習会」を行い、6年生で地域をテーマにした「課題追究学習」を行うことを通して、地域のよさを理解させ、地域や郷土を愛する心を育むことができるようにした。

##### 【実践】3年「山車について調べよう」4年「笹島の発展について考えよう」

本校は、校内に学区の山車を保存しており、下花車二福神車保存会の方を招き、からくり人形や山車の構造などを学んでいる。その際に、郷土芸能の保存や継承に携わる中で喜びや苦労を聞かせてもらうことにより、200年以上引き継がれている山車や地域の祭りに込められた思いの深さを感じ取ることができた。

「もっと多くの人に山車について知ってほしい」「一生祭りにかかわりたい」という感想が多く見られ、地域や郷土を愛する心の高まりが感じられた。

さらに今年度はこの学習を広げ、全国各地の祭りを調べる活動に取り組ませた。その中で、福島県の請戸芸能保存会の方を招き、講演会を行った。震災と原発事故による被害とで、町に帰れなくなった浪江町の請戸地区の人々が、伝統芸能「請戸の田植え踊り」を復活させていった思いについて、真剣に聞くことができた。

#### ② 異文化理解学習・国際交流活動

##### ○ 異文化理解学習の場の設定

海外生活の経験がある方から他国の生活習慣や文化の違いについて聞いたり、学区に隣接する「JICA中部（なごや地球ひろば）」の見学をきっかけに、世界の現状や開発途上国が抱えている問題について考えさせたりすることを通して、異文化を理解しようとする気持ちを高めてきた。

##### ○ 交流活動の充実

5・6年生では、地域・郷土学習で学んだことを、名古屋の大学に通う留学生との交流活動の中で発信していく。互いの意見を交わし合い、双方向の交流を行うことで、多様な価値観をもった人々を受容し、共生する能力を高めることができるようにした。

##### 【実践】4年「世界の現状を知ろう」

「JICA中部（なごや地球ひろば）」を訪問し、元青年海外協力隊の体験談や展示物を見聞きすることにより、世界の現状を知り、自分たちとの生活との違いに興味をもつことができた。見学後の感想には、食糧問題や教育問題、紛争問題について知り考えていこうとする内容が多く見られた。

##### 【実践】5年「世界の環境問題について考えよう」、6年「わたしのまちのたからもの～互いの郷土のよさを伝え合おう」

5・6年生では、地域・郷土学習で学んだことを交流活動で発信する活動を位置付ける。5年生では、地域・郷土学習で調べた堀川について伝え、留学生から世界の環境問題について教わるというプログラムを行う。6年生では、5年生での経験を生かしながら、留学生と互いの郷土のよさを伝え合うプログラムを年間を通して行った。

6年生の交流活動では、まず1回目の交流会では、留学生を笹島小学校に招待し、校内を案内したり、母国について紹介してもらったりした。また、児童からは、これからの総合的な学習の時間で、自分がテーマにしたい地域の題材を紹介し、留学生がどんなことに興味があるか聞き取りをした。さらに、2回目には、大学に出かけて行き、構内を案内していただいたり、お互いの小学校

生活について紹介し合ったりして、友好を深めた。

③ 実践の成果

文化祭では、これまでの学習の成果を発表した。

いろいろな国の言語に訳された歌を歌ったり、「田植え踊り」を笹島流にアレンジして発表したり、これからも大切にしていきたいものを伝えたりする児童の姿は自信に満ちあふれ、育てたい資質が身に付きつつあることが感じられた。

行った保護者アンケートでも「児童の発表の様子」「これまでの学習内容を生かした発表内容」について、「とてもよかった」「よかった」の合計が100%、98%という高い評価を受けることができた。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）